

2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月13日

上場会社名 株式会社コックス 上場取引所 東
 コード番号 9876 URL <https://www.cox-online.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺脇 栄一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経財・物流本部長 (氏名)高橋 英伸 (TEL)03(5821)6070(代)
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	12,759	△0.6	24	—	123	—	1,086	—
2020年2月期第3四半期	12,842	△11.3	△318	—	△203	—	△344	—

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 △91百万円(—%) 2020年2月期第3四半期 △1,008百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	39.37	39.34
2020年2月期第3四半期	△12.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	15,881	7,566	47.6
2020年2月期	12,402	7,658	61.7

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 7,561百万円 2020年2月期 7,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	16,400	△4.3	△470	—	△370	—	580	—	21.0	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期3Q	27,711,028株	2020年2月期	27,711,028株
2021年2月期3Q	105,576株	2020年2月期	109,576株
2021年2月期3Q	27,604,345株	2020年2月期3Q	27,585,579株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続きました。5月以降は、緊急事態宣言の解除による経済活動の再開に伴ない回復基調となり、また10月には東京発着の旅行がG o T oトラベルの対象に加わったほか、G o T o イートが開始されるなど政府の消費刺激策が本格化し、消費が持ち直す動きが見られました。しかしながら10月下旬以降、再び新型コロナウイルス感染者が全国的に拡大したことにより、先行きの不透明感が強まりました。

アパレルファッション業界においても緊急事態宣言の解除による営業活動再開によって回復の兆しが見られたものの、再び感染者数の増加に伴い、特に店舗営業は厳しい状況となっております。

このような環境の中、当社は、「ファッションテックの推進に向けた投資のシフト」「既存事業の収益構造改革」「EC事業の推進・拡大」に取り組み、安定的な収益性の確立をめざしております。

当第3四半期連結累計期間においては、コロナ禍での巣ごもり需要への対応として、新たにリラクシングウェアやルームウェアの品揃えを行いました。また、マスクが必需品となった新たな生活様式が定着するなかで、マスクをファッションの一部と捉え、機能性にファッション性を追求したマスクを6月以降販売してまいりました。9月8日には、東京駅八重洲地下街にマスク専門ECサイトのリアル店舗として、ファッションマスク専門店M A S K . c o m八重洲地下街店を期間限定で開店いたしました。その後、丸井有楽町、新宿サブナード、羽田空港第1・第2ターミナル、名古屋栄のラシックに期間限定で店舗を開店し、多くのお客さまにマスクを選ぶ楽しさを体験していただく場を提供してまいりました。

また、「コックス公式オンラインストア」は10月30日にリニューアルを行い、新たに「T O K Y O D E S I G N C H A N N E L」として、今まで以上に見やすく、買いやすく、便利なサイトへと生まれ変わりました。

店舗展開においては、9月にL B Cグランエミオ所沢店（埼玉県）を開店いたしました。L B Cグランエミオ所沢店は、L B Cブランドのリブランディング1号店として、新たな生活様式に合わせた「おうち時間」をイメージさせる商品やアウトドア関連商品など、これまで取り扱いのなかった新たな商品を数多く取り揃えました。

当第3四半期末の店舗数は、3店舗の閉店を行ったことにより、218店舗となりました。（期間限定オープン of M A S K . c o m など6店舗は除く）

この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高は前年比0.6%減少の127億59百万円（前年同期128億42百万円）となりました。また、売上総利益は、販売機会を逸した春夏商品や前年から持ち越した秋冬在庫の処分を進めたことにより、売上総利益率は昨年から3.4ポイント悪化し、68億38百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費につきましては、出張の抑制による旅費交通費の削減、レジ袋有料化に伴う包装費の削減、広告宣伝費等の見直し等を実施した結果、68億14百万円になりました。

以上の結果、営業利益は24百万円（前年同期営業損失3億18百万円）となり、前年から3億43百万円の増益となりました。経常利益1億23百万円（前年同期経常損失2億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期に保有有価証券の売却による売却益13億2百万円を計上したこと等により10億86百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失3億44百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34億79百万円増加し、158億81百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が54億58百万円、たな卸資産が7億46百万円増加し、投資有価証券が23億35百万円、関係会社預け金が10億50百万円減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ35億70百万円増加し、83億14百万円となりました。増減の主な内容は、短期借入金が19億円、支払手形及び買掛金・電子記録債務が11億57百万円、未払法人税等が4億91百万円増加し、繰延税金負債が5億19百万円減少したこと等によるものです。当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、75億66百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が10億86百万円増加し、その他有価証券評価差額金が12億円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想については、2020年10月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,478	6,398,834
受取手形及び売掛金	37,845	513,379
売上預け金	630,772	895,863
たな卸資産	2,097,821	2,844,714
未収入金	160,286	160,136
関係会社預け金	1,050,000	-
その他	123,709	113,407
貸倒引当金	△272	△527
流動資産合計	5,040,642	10,925,808
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	213,760	172,958
その他(純額)	10,643	14,431
有形固定資産合計	224,403	187,390
無形固定資産	-	34,356
投資その他の資産		
投資有価証券	4,939,381	2,603,799
差入保証金	2,179,054	2,115,604
その他	20,637	16,546
貸倒引当金	△1,968	△1,906
投資その他の資産合計	7,137,105	4,734,043
固定資産合計	7,361,508	4,955,790
資産合計	12,402,151	15,881,599
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	378,250	1,177,780
電子記録債務	1,090,799	1,448,443
短期借入金	-	1,900,000
未払法人税等	189,172	680,330
賞与引当金	16,259	85,236
役員業績報酬引当金	-	9,525
店舗閉鎖損失引当金	36,444	36,444
資産除去債務	22,103	28,379
ポイント引当金	11,360	18,240
その他	967,408	1,476,474
流動負債合計	2,711,797	6,860,855
固定負債		
退職給付に係る負債	494,523	452,883
繰延税金負債	855,966	336,236
資産除去債務	681,732	664,819
固定負債合計	2,032,222	1,453,939
負債合計	4,744,019	8,314,794

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金	5,355,968	5,355,295
利益剰余金	△4,010,971	△2,924,284
自己株式	△46,828	△45,119
株主資本合計	5,801,317	6,889,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,010,076	810,055
為替換算調整勘定	30,969	29,946
退職給付に係る調整累計額	△190,195	△167,168
その他の包括利益累計額合計	1,850,849	672,832
新株予約権	5,965	4,933
純資産合計	7,658,131	7,566,805
負債純資産合計	12,402,151	15,881,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	12,842,076	12,759,120
売上原価	5,527,723	5,920,632
売上総利益	7,314,352	6,838,488
販売費及び一般管理費	7,633,317	6,814,451
営業利益又は営業損失(△)	△318,964	24,036
営業外収益		
受取利息	2,010	259
受取配当金	106,580	105,566
為替差益	1,947	29
雑収入	8,737	1,759
営業外収益合計	119,275	107,615
営業外費用		
支払利息	-	7,528
雑損失	4,109	412
営業外費用合計	4,109	7,940
経常利益又は経常損失(△)	△203,798	123,710
特別利益		
受取保険金	7,118	-
有価証券売却益	-	1,302,033
店舗家賃免除益	-	81,008
雇用調整助成金	-	74,709
特別利益合計	7,118	1,457,751
特別損失		
災害による損失	5,239	-
減損損失	49,070	22,095
臨時休業等関連損失	-	77,017
特別損失合計	54,309	99,113
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△250,989	1,482,348
法人税、住民税及び事業税	93,977	395,662
法人税等合計	93,977	395,662
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△344,967	1,086,686
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△344,967	1,086,686

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△344,967	1,086,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△673,250	△1,200,020
為替換算調整勘定	△7,909	△1,023
退職給付に係る調整額	17,658	23,026
その他の包括利益合計	△663,501	△1,178,017
四半期包括利益	△1,008,469	△91,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,008,469	△91,330
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度までに5期連続して営業損失を計上しており、また、3期連続して営業キャッシュ・フローがマイナスとなっております。当第3四半期連結累計期間において営業利益24百万円を計上しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、今後の業績見通しについては不確実な状況となっております。

これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象、または、状況が存在しております。

しかしながら、「ファッションテックの推進に向けた投資のシフト」「既存事業の収益構造改革」「EC事業の推進・拡大」に重点的に取り組むことで収益性の改善を図り、キャッシュフローの改善を図ってまいります。また、当第3四半期連結会計期間の末日において、現金及び預金(資金)63億98百万円となっており、当面の間、運転資金および投資資金を十分に賄える状況であることから資金繰りにおいて重要な懸念はないと判断しております。